

かいっぱい がんばる子

令和4年3月16日

園長 木野園枝
菊川中央こども園〈3月末号〉



チューリップも芽を出し、日差しもあたたかくなり、春がやってきました。みなさん、卒園、進級、おめでとうございます。今年も、「新型コロナウイルス感染」状況を気にしての一年でした。昨年度の経験を活かし、行事は、子ども中心に考え、できることはやる、でも、無理はしないで方法を考える、という思いでやってきました。そんな中でも、どの子どもお友だちと先生と、生活している中で、友だちと思いが通じず、泣いたり、怒ったり、友だちが困っている時に、優しく声をかけてくれたり、頑張っている姿をみんなで応援したり、諦めないで頑張る姿を、私は観てきました。

どの子ども、この一年で大きく成長しました。もちろん、年齢によって違いますが、集団の中でなければ育たない育ちが育っていることを嬉しく思います。人はひとりでは生きていけません。いろいろな人と関わりながら生きていきます。これからも、いろいろな人と関わりながら、いろいろなことを学び、どんどん大きくなってほしいと思います。たんぽぽ組は藤組、藤組は赤組、赤組は桃組、桃組は青組に進級します。そして青組は、いよいよ小学生。どの子ども、一つ大きくなって新しい環境になります。希望でいっぱいですが、不安もあります。お家に帰ったら、そんな子どもたちを膝に入れたり、抱っこしたり、保護者のあたたかさで包んであげてください。保護者の方が、「いつも一緒だよ」「大丈夫だよ」の安心パワーを伝えてあげてください。それだけで、子どもたちには力になります。「自分大好き」「自分ですごいんだ」と思えることが大事です。まだまだ、小さな子どもたちです。みんなの愛情をいっぱいかけて育てていきたいですね。



避難訓練

3/10に、火事の避難訓練を行いました。今回は、突発的に火事が発生したということで、急に非常ベルがなりました。でも、すぐにベルの音に反応し、先生の声を聞き、避難しました。一年間毎月、火事や地震を想定し、避難訓練を実施してきたので、火事の時は、地震の時は、と子どもなりにわかっていたように思います。避難の後、第2避難場所の上本所公会堂に歩いて移動しました。もちろん、たんぽぽ組も、避難車に乗って、藤組も先生に手を引かれながら、一緒に避難しました。子どもたちには、とにかく、先生の話を聞くことが大事。職員は、みんなで声を掛け合い、子どもの避難を優先に。自然災害はいつどんな形で来るかわかりません。今後も、職員も危機感をもって訓練を行いたいと思います。

最後にひとこと

保護者の皆様には、いつもご協力、ご支援をいただき、大変ありがたく思っております。コロナ禍により昨年度同様、行事等変更があったり、できなかつたりしましたが、温かなお言葉をいただき、私たちも嬉しかったです。先生たちも、いつも子ども一人ひとりをよくみて、支えてくれました。来年度も、子どもたち一人ひとりに目をむけ、明るい楽しい声がいっぱいの園になるよう、頑張っていきたいと思います。来年度も、今年度同様、よろしくご協力をお願いします。

